

< 7. 新型コロナウイルス感染症の治療方法は？ >

「1. 新型コロナウイルスとは」で、病原微生物の種類について説明をしました。
病原微生物が異なれば、治療で使う薬も違います。

病原微生物	用いる薬
細菌	抗菌薬（抗生物質）
真菌（カビ）	抗真菌薬
ウイルス	抗ウイルス薬

細菌感染症と診断すれば抗菌薬を使用しますが、ウイルス感染症（風邪）などに抗菌薬は効きませんし、実際用いません。

細菌の多くは、「この薬が効く」というのが分かっている、効果のある薬（抗菌薬）が多数存在します。一方で、効果のある抗ウイルス薬が存在するウイルスは、実は少ないです。

- インフルエンザウイルス
- 単純ヘルペスウイルス
- 水痘帯状疱疹ウイルス
- サイトメガロウイルス

あたりでしょうか。逆に言うと、これら以外のウイルスに「特効薬」は存在しません。あれ？コロナウイルス入っていませんね。もちろん新型コロナウイルスも入っていません。

2020年3月13日時点で、**新型コロナウイルス感染症に効果があると証明された薬物治療・民間療法は存在していません。**

いくつかの薬剤について、臨床研究が始まっており結果の解析が待たれます。

確立した治療方法がないとすると、どのように治療を行うのでしょうか。

まず、繰り返しになりますが80%の患者は軽症で、特別な治療を行わなくても自然に改善します。自然に治るかどうかは、「どんどん悪化する息苦しさ」があるかどうかで簡易的に判断しましょう。この軽症の患者に、「必ず効くと決まっていない抗ウイルス薬」を投与するとどうなるのでしょうか。抗ウイルス薬が実は効いていない可能性がある上に、薬による副作用（有害事象）が出る場合もあります。なにも薬を使わなくたって自然に良くなるわけですから、有害事象なんて出た日には目もあてられませんよね。軽症の患者には、抗ウイルス薬は使用しない方がよいと考えます。つまり、他の人に感染さえさせなければ、軽症の患者は入院で安静にしているのと、自宅で安静にしているのは、同じ状況だと分かったと思います。

重症の患者はどうでしょうか。そもそも、重症の患者は体内の酸素量が減っていますので外から酸素を補充する必要があります。これは自宅ではできません。

自然に回復する重症患者はいますが、亡くなる患者もいます。重症以上の患者には、「必ず効くと決まっていない抗ウイルス薬」でさえも投与せざるを得ません。もちろん、投与しても亡くなる場合もあります。

ウイルスとの闘いにおいて、最も重要なのは自分の免疫です。ただし、初めて出会うウイルスに対して、強力な免疫を準備して発動するには時間がかかります。そこで、免疫を使った戦略には以下の2種類があります。

- すでにウイルスとの闘いに勝った患者の体内にできている免疫（抗体）を取り出して投与する
- 人工肺を用いて肺を休ませて、免疫を作るのに必要な時間稼ぎをする（ECMO）

他の患者から抗体を取り出して投与する方法は、まだ日本では実用化されていませんし、ECMOについてもすべての病院で治療が可能なわけではありません。

日本および世界中で、急ピッチに治療方法の確立を目指していますが、もう少し先になるでしょう。それまでは手探りの治療を強いられてしまいます。

軽症の患者への治療は困りませんが、機材・人・時間を重症患者に費やすためには、軽症患者が増えることは困りますし、まして軽症患者が入院することも困ります。

繰り返しになりますが、みなさんができることをご協力お願いします。

- 感染しないように、外出後は手洗いをしっかりと行い、ウイルスを体内にいれない工夫を。
- 万が一感染しても、咳エチケットやマスク、手洗いなどで、他の人にうつして感染を広めないように。